

# 堺市南区基本計画（第2期） 策定に向けた基礎資料について

## 堺市南区基本計画（第2期）の位置づけ・体系

人口減少・超高齢社会の到来・自然災害の発生などの課題解決にあたり、「南区民のウェルビーイング向上」を実現させるための区政運営の基本方針として策定する。

### 堺市基本計画（堺市の最上位計画）

#### 堺市南区基本計画（第2期）

**将来像** みどりとともにかなえる豊かな暮らし

**計画期間** 令和8年度～令和12年度（5年間）

**3つの柱** (1) 安全・安心 (2) 子育て・教育・健康長寿 (3) ブランド戦略

**方向性** 令和6年1月に実施した「南区ウェルビーイング見える化プロジェクト」におけるアンケート結果から出された、南区のウェルビーイングを向上させるための強みを3つの柱とし、現南区基本計画の方向性を踏襲しつつ、更なるウェルビーイング向上を図るもの。

**イメージ** 写真やイラストを多く取り入れ、デジタルブック形式での配布を意識したものとする。

#### 分野別個別計画

- ・堺市SDGs未来都市計画
- ・SENBOKU New Design
- ・スマートシティ戦略
- ・地域防災計画
- ・こども計画
- ・各種保健・福祉に関する計画

など

### 現行

第1章  
堺市南区基本計画  
について

計画期間  
位置づけ

第2章  
南区の現状

概況  
特徴

第3章  
「南区まちづくりビジョ  
ン」の総括

成果・課題  
まとめ

第4章  
堺市南区基本計画  
の内容

基本方針1  
ひとが絆を結び、**安全・安心**で  
快適に暮らすことができる都市

基本方針2  
いきいきと輝き、**健やかに成長**  
することができる都市

基本方針3  
ひとが未来へと紡ぎ、**魅力**と誇り  
を育むことができる都市

第5章 資料

### 次期計画

「南区民のウェルビーイング向上」を実現させるための区政運営の基本方針として策定

南区民へのウェルビーイングについてのアンケート調査から現状を分析

データをもとにしたグラフなどを使用し、視覚的に分かりやすく表現

#### 計画の3つの柱

安全・安心

子育て・教育・健康長寿

ブランド戦略

現行の南区基本計画の基本方針を継承

## みどりとともにかなえる豊かなくらし



## 3つの柱

### 安全・安心

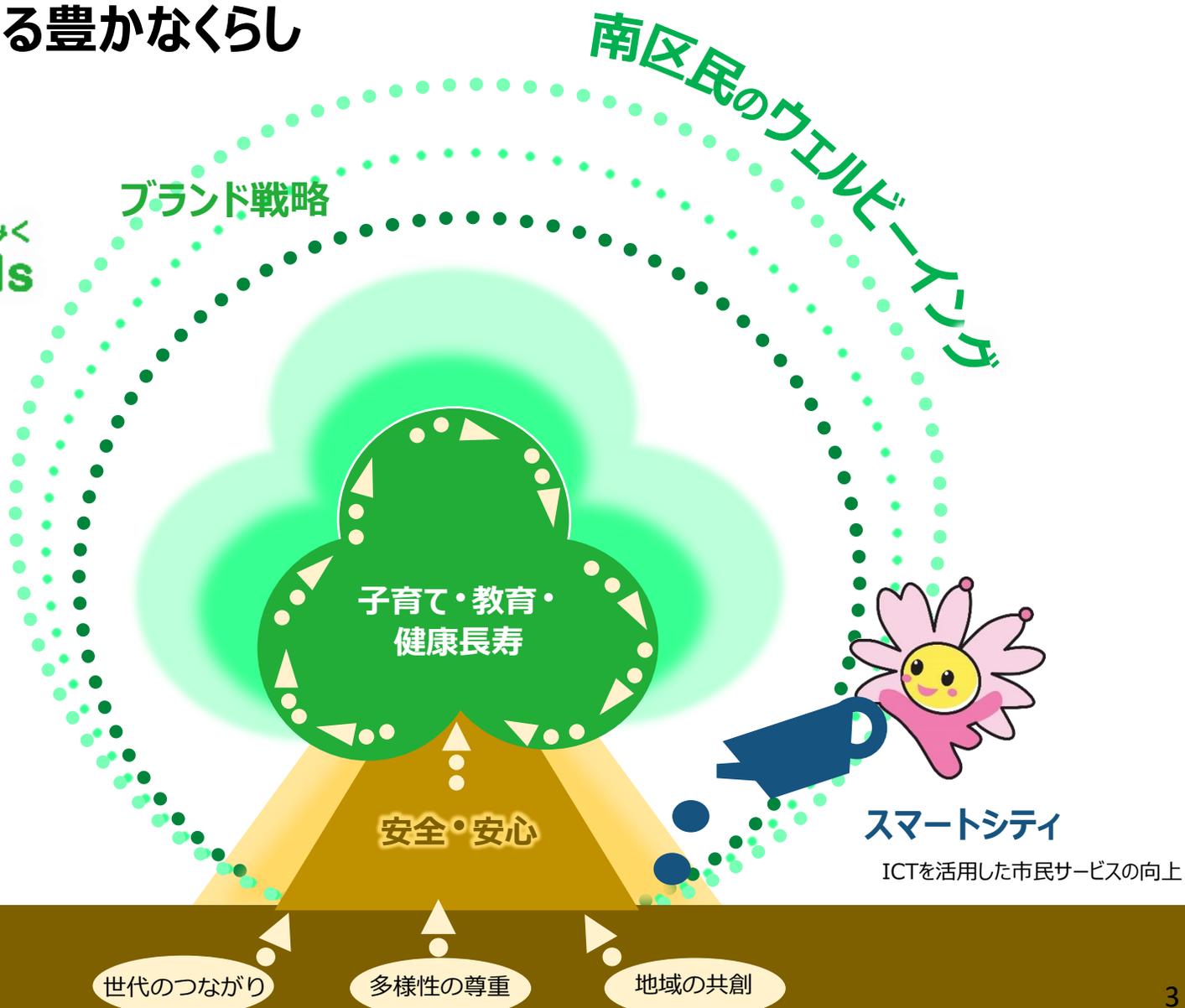
区民生活の基盤となる取組

### 子育て・教育・健康長寿

区民のライフステージに応じて必要となる取組

### ブランド戦略

南区ブランドの確立によるシビックプライドの醸成



### 第1章 堺市南区基本計画（第2期）

項目	内容
趣旨	人口減少・超高齢社会の到来・自然災害の発生などの課題解決にあたり、「南区民のウェルビーイング向上」を実現させるための区政運営の基本方針として策定するもの。
位置づけ・体系	上位計画である「堺市基本計画2030」やその他「堺市SDGs未来都市計画」、「堺市都市計画マスタープラン」や区役所各課が所掌する事務に関連する各種計画との整合を図る。「区役所と本庁のあり方基本方針」の策定を踏まえ、計画の位置付けを整理し新たに示すものとする。
構成	南区がめざす将来像、将来像実現のための3つの柱、3つの柱を構成する重点事業、個々の取組方針等についてイラストや写真を用いて視覚的に示す。
計画期間	5年間（2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）まで）

### 第2章 南区の現状

項目	内容
南区の統計	人口推計や高齢化率等を踏まえ南区の実情をよりの的確に反映できるデータを示す。
南区のウェルビーイング	令和6年1月に実施した「南区ウェルビーイング見える化プロジェクト」におけるアンケート結果から出された南区民のウェルビーイングを示す。

### 第3章 南区の将来像（ウェルビーイング像）

項目	内容
将来像	現行計画の将来像・方向性をもとに社会情勢の変化等を踏まえ効果的な内容に見直す。
区政の方向性	

### 第4章 基本計画を推進するための3つの柱

項目	内容
3つの柱	「安全・安心」「子育て・教育・健康長寿」「ブランド戦略」
重点事業	3つの柱を構成する要素から重点的に取り組む事業
取組の方向性	重点事業の方向性について、将来像の実現に向けた具体的な推進方針を明確に示す。また、社会環境や区民ニーズの変化、現行計画のKPI達成状況等を総合的に勘案し、より体系的で理解しやすい分類のあり方を検討の上で、必要に応じて見直しを行う。
主な取組方針	各取組において、実効性のある事業展開へつなげるための方針を示す。また、社会環境や区民ニーズの変化、現行計画のKPI達成状況等を総合的に勘案し、より体系的で理解しやすい分類のあり方を検討の上で、必要に応じて見直しを行う。
KPI	重点事業ごとにKPIを設定する。 KPIは社会環境やニーズの変化等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。